

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102898
法人名	株式会社 ケアセンターとかじ
事業所名	グループホーム 清風
所在地	松山市味酒町1丁目9番地15
自己評価作成日	H25年8月31日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成25年10月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>入居者様、家族様、また、しゃいも皆がホッとできる空間環境になるように努めています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>畑仕事がお好きな利用者がおられたことから、職員からの提案で、ベランダにプランターを置き、利用者と一緒に野菜作りを始められた。又、カラオケがお好きな利用者が歌って楽しめるよう、マイクを購入されていた。系列3法人で、防災・安全・技術向上等、5つの委員会にそれぞれの職員が所属する仕組みを作っておられ、職員で意見を出し合い取り組みをすすめておられる。事業所は、地域密着型サービス協会主催の研修会に職員の参加者が多く、3年連続で協会から表彰されている。</p> <p>この1年間に、5名の利用者の看取りを支援された。ご家族の方が順番に寝泊まりして、看られたケースもある。亡くなられた利用者へ他利用者は手を合わせて見送られたユニットもあった。ご家族から「ここよかった」と、感謝の言葉をいただいたことが職員の励みとなったようだ。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム清風

(ユニット名) 3階

記入者(管理者)
氏名 阿部真之介

評価完了日 H25年8月31日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			理念のもと共有し実践につなげている。	
			(外部評価)	
			系列法人グループの基本理念である「誠実・信頼・発展」を キーワードに作成した「利用者様に常に誠実に接することに 努める」等、三つの基本方針を朝礼時に唱和されている。管 理者は、職員から利用者のケアについて相談があると、理念 等を振り返りながら話し合うようにされている。又、ユニットご とに、目標を決めて理念が具体的に実践できるよう取り組ま れている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			地域活動に積極的に参加している。	
			(外部評価)	
			管理者は、「地域の方と協力関係を築き、相互に助け合うこ とができる事業所でありたい」との思いで取り組まれている。 運営推進会議では、地域の方から町内行事の情報を教えて いただくことが多く、職員は、利用者と一緒に参加しておられ ます。秋祭り時には、毎年、事業所の前にお神輿が来てくれ、 利用者も職員と一緒に、かまぼこを切ったり盛り付け等して、 担ぎ手の方達をもてなす準備をされている。又、子ども達に は、お菓子やジュースを配る等して地域の方達とふれ合っ ておられる。地域の公民館で行われている地区の文化祭時 には、職員も参加して、準備等から協力をされている。近 くの公園の清掃活動や市民大清掃にも職員が参加され、地 域の方とともに活動しておられる。2～3年の間、感染症 のこともあり幼稚園との交流が途絶えていたが、管理者は、 幼稚園とも相談しながら交流を再開したいと考えておられ ました。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議などで活動の報告や情報交換を行っている。 地域に役立てる様に取り組んでいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2か月に1度開催し、地域や行政の方にも参加して頂き意見交換。その後のサービス向上に活かしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は、奇数月の第2火曜日18時～と決めて開催されている。市の担当者や地域包括支援センター、町内会の会長や副会長、役員、民生委員等に参加いただいている。事業所から利用者の状況や取り組みを報告する際には、写真を見ていただきながら様子を説明されている。又、看取りの事例や研修報告、今後の予定等も発表して、意見をうかがっておられる。会議を通じて事業所の防災訓練の予定を知らせ、町内会にも協力していただけるよう依頼された。現在、ご家族の来訪時等に会議の案内をされているが、ご家族の都合もあり、参加には至らないようだ。管理者は今後、「ご家族が関心を持てるようなテーマ」について職員で話し合い、ご家族等の参加につなげたいと話しておられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その都都市町村と連携をとり協力関係を築いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、市の担当者から感染症等についての注意事項やアドバイスをいただいた際には、事業所が行っている次亜塩素酸消毒の実施や手洗い等の感染防止対策の取組みを報告された。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>勉強会を行い職員全員がそれについてよく考えケアに取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所建物の玄関や各ユニットの玄関は、日中に施錠することはなく、職員は目配りをしながら利用者を見守っておられる。利用者の行動を制限するような職員の言葉かけが聞こえた場合は、管理者がその場で話し合うようにされている。転倒が心配される利用者の中には、ベッドから立ち上がる際、職員が分かるように、センサーマットを使用している方もいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 新人研修時はもとより勉強会を通して互いに注意して取り組みに努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会、研修への参加し活用できるようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分に説明し納得していただき、同意を得た上で署名、捺印を頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談窓口を設けており、その旨を施設内に掲示している。 (外部評価) ご家族の来訪は頻回にあるようで、職員はその際に利用者の様子を報告しながら、ご家族の意見を聞き取るようにされている。又、毎月個々に、職員が手書きの手紙に写真を添えてご家族に送付されている。これまで年1回、ホテルで利用者・ご家族・職員が集う食事会を開催されていたが、利用者の重度化に伴い、参加される利用者やご家族が少なくなったため、1年前から中止されている。	 運営推進会議や行事等、ご家族の参加を働きかけ、一緒に勉強したり活動しながら、ご家族の意見を引き出す工夫を重ねていかれてほしい。ご家族の理解や協力を拡げて事業所のさらなるサービス向上につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			日常的に話をしながら相談等を行っている。	
			(外部評価)	
			今回の自己評価は、職員に意見を聞き、各ユニット責任者がまとめられた。畑仕事がお好きな利用者がおられたことから、職員からの提案で、ベランダにプランターを置き、利用者と一緒に野菜作りを始められた。又、カラオケがお好きな利用者が歌って楽しめるよう、マイクを購入されていた。系列3法人で、防災・安全・技術向上等、5つの委員会にそれぞれの職員が所属する仕組みを作っておられ、職員で意見を出し合い取り組みをすすめておられる。事業所は、地域密着型サービス協会主催の研修会に職員の参加者が多いことで、3年連続で協会から表彰されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			日常的に職員一人一人と接し、適時アドバイスをしている。又、その際モチベーションの上がるような話をし、職場環境・条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修を通じて技術向上に努めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			現在、相互研修はしていないが、外部研修を通じて交流している。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			基本情報を職員全員が把握し、状態を確認しサービス開始時には特に頻回に接して安心を確保できるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>話を聞き、いつでも相談等が出来る環境を整える様にしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>状況にあったサービス支援が出来る様に考え必要とされる支援に努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共通の事を一緒に行う事で楽しみ等の共有をしている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会の際にゆっくりできる環境作り、その都度の相談等の対応をしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地方祭面会等を通じて関係の継続の支援をしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者からの希望で、以前住んでいた場所の近くの商店街に出かけて馴染みのお店の方とおしゃべりしたり、買い物ができるよう支援されている。遠方へのお墓参り等の希望は、ご本人の気持ちをご家族に伝えるようにされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者同士が孤立しないように関わり、利用者同士が協力して生活を送っている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	必要に応じて対応している。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	一人一人の希望を把握しその都度検討している。
			(外部評価)	
			職員は、利用者に声をかけることを意識してケアに取り組んでおられる。日々の会話を工夫して、利用者が二者択一できるように努められ、希望や意向等の把握に努めておられる。又、意思表示が難しい方は、表情や仕草から、把握できるように努めておられる。個別の日々の記録に、利用者の言葉も書き込むようにされている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	入所の際、生活歴や好み生活環境をしっかり把握するように努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	関わりの中で細かいところまで把握できるように努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員間の連携により細かいケアが出来る様に介護計画の作成にあたっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、月1回、モニタリングを行い、半年毎に見直しされている。介護度が重度の利用者のご家族からは、「人を感じることができる時間作り」について希望があり、リクライニング車椅子で居間に出て、人と交流できる時間が持てるよう計画されていた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>記録のもれなく記入したり、気づきを大切にし情報の共有をし日々の実践に活かせるように努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>要望に対応できるようにしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>お祭り、文化祭、運動会などで地域交流を行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	
			母体病院との連携で訪問診療、体調変化時の往診等すぐに対応できるようになっている。	
			(外部評価)	
			ご家族等の希望で、利用者全員が母体医院をかかりつけ医にされており、2週間に1回の往診がある。専門医の受診は、ご家族が都合がつかない時や、遠方に住んでおられる場合は、職員が付き添い支援されている。歯科は、訪問歯科を利用されている。利用者に気になる状態がみられた時には、小さなことでも母体医院の看護師が見に来てくれ、利用者の健康管理や、かかりつけ医につなげてくれるようになっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	
			施設内の看護師資格を持っている職員と、母体病院の看護師と連携し支援している。	
			(外部評価)	
			入退院時に互いの情報交換を行い、必要に応じて連携をとっている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価)	
			入退院時に互いの情報交換を行い、必要に応じて連携をとっている。	
			(外部評価)	
			主治医、御家族と密に連絡を取り合いながらチームとして支援している。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			主治医、御家族と密に連絡を取り合いながらチームとして支援している。	
			(外部評価)	
			この1年間に、5名の利用者の看取りを支援された。ご家族の方が順番に寝泊まりして、看られたケースもある。亡くなられた利用者には他利用者は手を合わせて見送られたユニットもあった。ご家族から「ここでよかった」と、感謝の言葉をいただいたことが職員の励みとなったようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	定期的な訓練をし、個人がしっかり身につけ、実際に発生した時は、対応できるようにしている。
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	火災発生時などの対応訓練、消防立会いのもと防災訓練を定期的に行っており、マニュアルに基づいて実施している。又、地区や町内会の訓練にも参加している。
			(外部評価)	運営推進会議時、市の担当者から「防災訓練を運営推進会議に組み込んでやってみてはどうか」と提案があったことをきっかけに、5月には会議と併せて夜間の火災を想定した避難訓練を実施された。職員の誘導で利用者は階段を使って避難し、又、職員が利用者役になり、担架での避難方法も体験された。地域の方には、外に避難した利用者を近くの母体医院まで誘導していただけるよう、お願いされている。事業所内に、防火管理者資格を持つ方が3名おられ、事業所建物は地域の避難場所にもなっている。系列有料老人ホームの一室に、水や非常食等を備蓄されている。地震に備えて、家具等を金具で固定されている。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	利用者様の立場にたった対応をしている。
			(外部評価)	調査訪問日、食事中に口の周りや手を汚される利用者の横に、ティッシュペーパーとくず入れを準備されており、利用者をご自分で口の周りを拭いたり始末されていた。ユニット責任者は、日頃から職員に、排泄時の声かけは、周りの人に気付かれない配慮をするよう、話しておられる。又、職員は、利用者のプライバシーに関する事を、他の利用者の前で話さないように気を付けておられる。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	出来る限り利用者様の意向をくめるように配慮している。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 散歩や買い物、趣味など希望に沿って支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 着衣交換時に意向を聞き、一緒に準備している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 料理の下準備や食器拭き、片付けなど一緒に取り組んでい る。	
			(外部評価) 必要な食材を発注して、職員が交代で食事を作っておられ る。お箸や湯のみ、カップは、使い慣れたものをご自宅から 持ち込まれ、それぞれがご自分のものを使っておられた。職 員は利用者個々に「お茶は温かいのと、冷たいのと、どっち にしますか」とお聞きして用意されていた。スプーンが口まで スムーズに運べない利用者には、職員は、「もう少し、もう少し」 と声をかけられ、食べ物が口に入ると利用者は職員の顔を見 てにっこりされていた。誕生日には、利用者の希望のメ ニューと、職員の手作りケーキでお祝いされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人の摂取量の把握をし、状態に合わせた支援をして いる。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 義歯の洗浄をしたり、口腔内の届かない部位は職員が介助 し、口腔ケアをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一定の時間で声掛け。又、訴えのあるときにはその都度対応をしている。	
			(外部評価) 排泄チェック表を確認し、トイレでの排泄を支援するうちに、失敗することが無くなり、布パンツで過ごすことができるように改善した事例がある。トイレのドアに「トイレ」と貼り紙をして、場所を示しておられた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 就寝前の牛乳や起床時の水分補給を勧めたり、日中は散歩に出かけたり、体操など体を動かしたり、予防に取り組んでいる。	
			(外部評価) できるだけ個々のタイミングに合わせようとする努力をしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者個々に週2回入浴できるよう、計画に沿って支援されている。車椅子を使用する利用者も、職員が二人で介助して、浴槽で温まれるよう支援されているが、安全のためシャワー浴の方もおられるようだ。「ゆっくりと浴槽に浸かりたい」「湯温の調節を自分でしたい」「浴槽に何回も入りたい」等、個々の要望に合わせた支援にも沿うように努めておられる。さらに、利用者の入浴の習慣や好み等についても情報収集に取り組み、利用者が主体の入浴支援をすすめていかれてはどうか。個々が入浴を楽しめるような支援に向けて、さらに工夫を重ねていかれてほしい。	
			(外部評価) 御利用者様の希望に応じ、居室に案内している。訪室を重ねて、更衣や消灯などの介助を行っている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の情報を職員の一人一人が確認しており、御利用者様の体調の変化に気付けるよう努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ちぎり絵、音楽など趣味を楽しまれる時に、職員と一緒にいる。出来ない部分はアドバイスし気分転換などの支援をしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩や買い物などの外出ができるように支援している。月一回はドライブレクで遠出をしたり、御家族様と外出や外食も多い。	
			(外部評価) 5階にある系列デイサービスと合同で、奥道後の菊花展やかすり会館、郊外の大型スーパー等に出かけ、外食も楽しませている。年2回は、遠出のドライブを計画するようになっていて、道の駅「からり」や双海シーサイド公園等に出かけられた。	ユニット責任者は、今回自己評価に取り組み、外出支援に課題を感じておられた。利用者の希望やご家族の要望もお聞きしながら、日常的にちょっと外に出かけるような支援に工夫されてほしい。又、介護度が重度の利用者も、体調をみながら、外気にふれるような機会作りに取り組みしてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 御利用者様の希望に応じて一緒に買い物に出かけ、自己管理されているお金での支払いができるように支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望時に連絡が取れる体制をとっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			季節によって壁の絵や玄関の小物を変えて、季節感を取り入れている。	
			(外部評価)	
			事業所は、マンションやビルが並ぶ市街地に所在し、5階建てビルの2、3、4階部分に位置しており、普段はエレベーターを使って上がり降りするようになっている。ユニットの玄関には、柿や栗等、季節の小物が飾られていた。食堂の壁面に掛けてある日めくりカレンダーは、決まった利用者がめくってくださっている。居間に続くベランダは、出入りが自由にでき、訪問日の午後には、ひとりでベランダに出て、道路を走る車や景色を眺めている方がおられた。職員が洗濯物を干す等で、屋上に行く際には、利用者に声をかけるようにされており、訪問日の午後、屋上から戻って来られた利用者が、「今日はいい天気よ」と笑顔で教えてくださった。屋上には、花や野菜のプランターが置かれている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			ホールでは御利用者様同士で会話や洗濯物を畳むなどの家事をしている。体操などもホールで行っている。楽しみながら思い思いに過ごされている。	
			(外部評価)	
			鏡台や机、布団など馴染みのある品物を持ち込んでいただき、今までと同様の生活ができるように尊重している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			東側にある居室からは、松山城を眺めることができる。ご家族がラジカセとテープを持って来られて、ご本人の希望をお聞きして曲をかけておられる。テレビを持ち込まれたり、ご家族用の椅子を置いている居室もあった。利用者が居室を空ける時間には、日に2回程度換気をされている。又、介護度が重度の方の居室には、温湿度計を設置して、室温の調節をされている。	
			(外部評価)	
			利用者様が一人で出来る事は側で見守り危険が発生してもすぐに対応出来る様にして自立を促している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	